

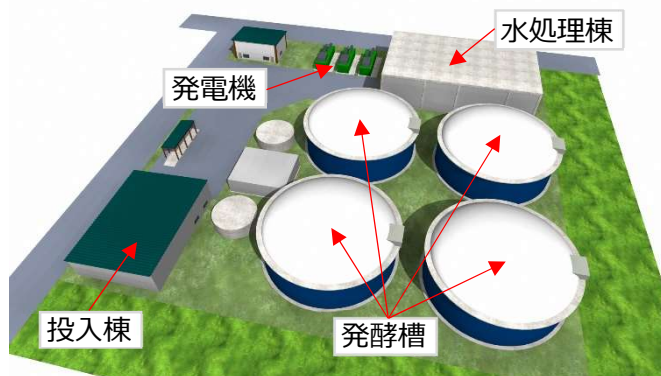
バイオガス発電施設の整備・運営に関する 協定締結完了のお知らせ

三和電気土木工事株式会社（本社：大阪府大阪市北区 代表取締役社長：森博明、以下「三和電気土木工事」）は、同社が事業主として参画する「かぶとバイオマスプラント有限責任事業組合」（組合長：有限会社希望園 山本真五、以下「かぶと LLP」）、ならびに岡山県笠岡市（市長：小林嘉文）との間で、同市南部の笠岡湾干拓地におけるバイオガス発電施設の整備運営に関する協定を締結致しました。

【バイオガス発電施設の概要】

➤ 名称：	かぶとバイオマスプラント有限責任事業組合 かぶとバイオファーム発電所
➤ 事業主：	かぶとバイオマスプラント有限責任事業組合（かぶと LLP）
➤ 立地場所：	岡山県笠岡市カブ中央町 182・183 番地（予定）
➤ 敷地面積：	9,900 m ² （予定）
➤ 規模：	発電出力 1,200kW（予定）
➤ 操業開始年月：	令和5年4月（予定）

SDGs（持続可能な開発目標）に基づく2050年カーボンニュートラルに向けた取組みが推進される中、三和電気土木工事はこれまでに太陽光発電所の開発ならびに数多くの EPC 工事（設計・調達・施工）を行ってきました。一方、岡山県笠岡市の笠岡湾干拓地では肉牛と乳牛計9千頭が飼育されており、大量の牛糞処理と臭気管理が課題となっています。この度、干拓地内の畜産農家7軒と三和電気土木工事が設立したかぶとバイオファーム合同会社がかぶとLLPを構成、牛糞から出るメタンガスを活用したバイオガス発電施設を整備運営することで、再生可能エネルギー発電によるSDGs貢献、地域資源の循環、臭気低減、ならびに同市の産業活性化を図ってまいります。本発電施設の出力は1,200kWを予定しており、バイオガス発電所としては国内では北海道を除き、最大級の発電規模となります。三和電気土木工事は本発電施設の整備運用により、再生可能エネルギー事業の更なる展開とSDGsへの貢献を推進してまいります。



かぶとバイオファーム発電所 完成イメージ図



かぶとバイオファーム発電所 立地場所

■ 本件に関するお問い合わせ先

事業主：かぶとバイオマスプラント有限責任事業組合 組合長 有限会社希望園 山本真五
施工者：かぶとバイオファーム合同会社（三和電気土木工事株式会社） 担当 矢野雅一
電話番号：06-6395-9130